

四谷の

千枚田だより



第 163 号

が、一期五年の制約があまりにも厳しく、継続を断念した。そ

海外からの視察

二月二十一日、上海社会科学学院の顧鴻雁博士（若くてすごい美人）と名古屋大学の高野雅夫教授が千枚田を訪れた。

顧鴻雁さんは二月に日本でフィールドワークを行うため来日。研究テーマは日本の農村景観保護政策と中国への啓発で、里山に関する農村経済発展と環境保護は日本でもどう両立して展開されるかについて政策と実情を調べ、中国への示唆を検討したい考えだそうである。

棚田は日本の代表的農村景観要素であり、中山間地域で耕作放棄地が高齢化などによってどんどん増えているなか、耕作を維持し農村景観を保全するのは行政と民間の協働が必要で、関連政策や都市農村交流、棚田ブランドの開発などの取り組みを研究したい意向だそうです。四谷の千枚田に関しては、次の項目について質問があった。

問① 中山間地域等直接支払制度について

回答① 三期十五年継続していた

もそも、この制度は全国棚田サミットにおいて日本の原風景の保全継承を目的に地道に要望、制度化されたものであるが、期間内に集落協定の一員が病などで耕作放棄でもしたら連体責任で全額返還、皆に迷惑が掛かることを懸念、「ありがたい制度」であるが四期目は断念した。

問② ふるさと、水と土ふれあい事業について

回答② この事業が実施されたことで現在の「四谷の千枚田」がある。急傾斜の厳しい条件の耕作も農道ができたことで作業効率も抜群にアップ、耕作意欲も湧き、棚田保全の継続に繋がった。もし、この事業がなかったら「四谷の千枚田」も耕作放棄地になっていたと思う。

問③ 美しい農村再生支援事業について

回答③ 棚田の美しい景観や伝統等の総合的な付加価値を蘇らせ、農村の活性化を支援する制度であることは認識しているが、戸々の耕作面積も少なく、生産性も少ないため、なかなか手を挙げられない。

問④ 都市農村交流・棚田オーナー制度、またはふれあい広場などの施設の整備や棚田サミットの開催がもたらされる効果など

回答④ 地元小学校・豊橋調理製菓専門学校・新城高校農業クラブ等の稲作体験、また、地元企業横浜ゴムの新人幹部研修、生物多様性観察会など積極的にやっている。また、お田植え感謝の夕べや収穫感謝祭などを行うことで地域、都市住民に癒しの空間として好評を博している。

棚田サミットを開催したことで知名度も高まり、観光客が増大した。棚田オーナー制度については、興味本位やお遊びに手伝っている世話役がいらないため実施していないが、コメ作り全部を任せられる小作人（制度？）を取り入れ、遊休、休耕対策を講じている。

問⑤ 棚田ブランドの開発・棚田米、関連製品の販売など

回答⑤ 耕作面積が三・六畝で、余剰米はほとんどなく、常備米などに蓄えていた古米を製菓業「八雲だんご」さんに出荷、「四谷の千枚田五平餅」として道の駅や郵便局の季節限定宅配、パンフやクリアファイルは私の写真や文章をベースに作成したものである。

問⑥ 行政と民間の協働体制・棚田

景観の保全への取組や「重要文化的景観」の指定を目指す準備など

回答⑥ 「重要文化的景観」の指定については「四谷の千枚田だより」五十一号（平成十九年十一月）で提言したものの、反応はなかった。

最近になって、アフリカ共和国、ベトナム、中国など外国からの視察者がやけに多いし、コメ作りに熱心でもある。

同行した高野先生は「だいた先生」で有名なお方で、人は百ワットで生きたらいい、だいた先生の自家発電「三十W生活」（単行本）、坂折棚田や他地域の棚田再生、また、小規模再生エネルギーの実践にも取り組まれている素晴らしい尊敬に値する先生である。



三遠南信サミット 信州

二月十五日、第二十四回三遠南信サミットが飯田市文化センターを会場に開催(千人規模)された。

三遠南信サミットは、県境を越えたこの三遠南信地域を一体的に振興すべく、地域住民、大学・研究機関、経済界、行政が一堂に会し、それぞれの活動状況や今後の三遠南信地域の展望について、情報や意見を交換し、議論を行うものである。

会議に出席して南信州は飯田線を利用した豊橋(三河)との繋がりの大きさを感じた。中央道開通後は名古屋へ、リニアが開通すれば名古屋、東京は通勤圏になるなど、時代の変貌が伺われ、興味を誘った会議であった。

片山右京さん来訪

三月三日、日本を代表する元F1レーサー片山右京さんが千枚田を訪れた。訪れた目的は市内大手企業の横浜ゴム新城工場が取り組む生物多様性実践活動の一環として千枚田内に二か所のビオトープを造成、生物の再生を行っており工場長さん、取締役さん共々訪れ、移殖、再生されたヤマアカガエルの生態、成果を(舜)が説明する羽目になった。右京さんも卵塊から生まれる(ハツチアウトする)オタマジャクシに感動を覚えたようであった。



余談だが、六月の「灯そう千枚田」には自転車で来ようかな・・・など四谷の千枚田のファンになってしまった。

明朗クラブ研修旅行

二月二十二日、連谷明朗クラブ会員二十二名は日帰り西尾市の三河温泉「海遊亭」に出かけた。

冒頭、丸山悼志会長は合併前の鳳来町の時分には三十四団体あったが、新城市になって減少の一途を辿り、現在は旧鳳来町には二団体のみで、今日、こうした研修旅行をするような元気なクラブは全くなく寂しい限りであると挨拶された。

海遊亭では梅沢富美男張りの大衆演劇を観劇、昼食も日頃のシシ肉や山芋と違った海鮮料理に舌鼓、ついついトックリがたくさん転んだ。

山の神

二月二十六日、身平橋組の山の講があった。この日は女人禁制の御山に集まり御神酒をいただき、大きな火を焚き、「おきり」で「おはたき」を焼き豊作と無病息災を願った。

山の神様の祀りの日に山仕事や山へ入ると神隠しや何か(不幸)があるそうだな・・・

春の山の講で大きな火を焚くもんで山の神様がビックリこいて眼を覚まし、毎日、田んぼの水見に周ってくれるだけな・・・苦労にずくと秋の山の講まで続けてくれとるだげな・・・それで、春と秋にお祀りを



せるのが判った。御かげで俺んとうは二回「おはたき」や御神酒が飲めるちゅうもんだ。カカアは居らんし安気なもんだ。まあ「おはたき」をつまみに呑まま行かん・・・

役員会

二月二十五日、保存会役員会が連谷会館で開かれた。

議題①四谷区長から協力要請のあった「ふれあい広場におけるパワートレイルエイドステーション」の協力について 結果：前日、役員の出役、当日は広く呼びかけ接待・協力することとなった。②横浜ゴム新入社員研修の受け入れ 結果：本年で十二回目になる。受け入れを了解。その他 事業進捗、役員改選など

今後の予定

- 三月二十四日、安城緑ネット役員事前視察対応
- 三月二十六日(日)、午後九時より「ダーズIIがTBS系(CBC)」で放送、前週には前編の再放送される
- 三月二十八日、「八雲だんご」来年的カレンダー作成打ち合わせ
- 四月五日(水)、横浜ゴム新入社員研修

行 平成二十九年三月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二